



No. **56**

発行者 沼津市商工会
 会長 大村保二
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL (055) 966-1331 FAX (055) 967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL (0558) 94-2224 FAX (0558) 94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



見学者に帯笑園庭内を案内する 植松氏(右端)

帯笑園について



植松家十三世
植松 靖博

六月に帯笑園が国の文化財登録記念物に指定され、マスコミに報道されましたが、帯笑園をあまりご存じない方も多いことでしょう。そこで、帯笑園について簡単に紹介致します。

植松家は江戸時代の初め天承十二年(一五八二年)に原に居を定めました。代々開墾植林につとめ、花卉類に興味を持ち蒐集に努めました。

江戸中期、六世蘭溪の代には文芸交流の場として、大名諸侯をはじめ、多くの人々が訪れるようになりました。園内には盆栽、桜草、松葉蘭などが栽培展示されていました。その様子はシーボルトの「江戸参府紀行」にも記されています。

ます。

現在の広さは往時の半分以下になりましたが、昔からの碑や蓮鉢、臨春亭などと共に芳名録そして園の記録や日誌などが残されています。

これらの資料などをこの場所に残したいと案じておりましたところ、平成十五年に植松善夫先生、前市会議員の大場豊重さんなどが帯笑園保存会を立ち上げ、保存運動を展開してくださいました。その結果、平成二十一年には沼津市が帯笑園を維持保存してくださる事になり、現在移行のための諸作業を行っているところです。一、二年後には公開となる予定です。

登録記念物への指定は庭園に関する記録や資料及び庭園の付属物がそろって残っていると言ったことが評価され、また園芸史の上でも貴重ということ、このたびの文化財登録ということになりました。これからは、市民の皆様のお力添えとして、末永く大切に立て戴き、又資料等がお役に立てばうれしい限りです。

原支所
合同役員会報告



共済制度の説明

十月一日、原支所合同役員会が開催されました。五月の役員改選後の新体制によるはじめての開催となるため、事務局から、商工会が取組んでいる事業の概況や本会組織の現状などについて詳しい説明が行われました。

特に、合併後五年の本年度は、合併のメリットを活かして運営の効率化と事業効果を高め、成果が実感できるようにしなければならぬことや、新執行体制のもと、部会、支部等の在り方を再検討することなどが提案されました。続いて、会員の経営安定と

会の基盤を強化するため、十月から開始する「組織財政基盤強化推進月間」の実施方法について説明が行われ、役員が一体となって取組むことになりました。

また、月間の一環として加入促進に取組む共済制度について、県商工会連合会の栗田会員福利課長を迎え説明が行われました。栗田課長は、特に、貯蓄共済・福祉共済の二つの制度について、その基本から特徴、加入実態までわかり易く説明し、会員のみ加入できるメリットの多い制度であることが紹介されました。

議事終了後には、「お茶資源活用部会」が取組んでいるお茶の葉料理の試作品「茶葉入り餃子」の試食も行われ、今後の取組みに期待が高まりました。



茶葉入り餃子の試食

帯笑園保存運動
第二段階へ

帯笑園の保存を要望する運動が実り、平成二十一、二十二年度に庭園の大部分が市のものとなり、園路などがつくられました。整備された庭園で催された桜草鑑賞会には大勢の方が見学に訪れました。



庭園を訪れる見学者

しかしながら、帯笑園の本格的な整備はこれからです。かつてあった門や望嶽亭などの復元とともに帯笑園の歴史や文化的意義を伝える資料を展示するスペースの整備が望まれます。円山応挙の絵画など重要な文化財は東京国立博物館に寄贈され散逸を免れています。そのほかの植松本家

がお持ちの貴重な資料を常設展示できれば原地区ばかりか「沼津の宝」として多くの方が鑑賞することができます。

今後、帯笑園の整備・活用を進めるには、多くの皆さんの理解と賛同が必要となります。帯笑園は元々私設の庭園だったため広く知られていたとは言えません。保存会では帯笑園の歴史や文化的価値を再認識してもらおうと、帯笑園連続講座を開催し、十二月には市立図書館で帯笑園と原宿の資料展示を計画しています。

帯笑園の顕彰と活用を図る保存会への理解がますます広がることを期待しています。

(帯笑園保存会副会長

大澤 敏夫)



毎年賑う桜草鑑賞会



ローンの御相談はさんしんへ
三島信用金庫 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511



静岡銀行 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309



あん しん for you
安・信・豊・澁 みなさまの暮らしに、
安心と信頼をお届けします。
JAなんしん 原支店
〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722



沼津信用金庫 原支店
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス http://www.numashin.co.jp/



橘の果実

戸田支所だより 夕チバナ(橘)って何

橘はミカン科の木で、古くは古事記、万葉集などに記されている日本固有のミカンです。なかでも、戸田地区は橘の自生地として日本の北限で最大級の集団、遺伝的にも特徴のある貴重な存在として専門家の間で知られています。

その果実はミカンを小さくした形で、一般に一回ついでる温州ミカン（青島ミカン・寿太郎ミカン）の約十分の一、中味は種が多く酸味が強くて

生食には向きません。木と葉は同じく温州ミカンを小さくした姿ですが、年数を重ねると5m以上になる木もあります。

収穫期は十一月〜十二月頃で、黄色とオレンジの中間色の小さな可愛い実をつけます。成分ですが、発ガン抑制効果があるとされる「ノビレチン」をどのミカン科の果実よりも多く含み、香りも強く、近年その研究も進められています。

また、ひな祭りの飾りに「右近の橘」があるように昔から神事などに使われていた事は知られています。

これまで戸田地区では「沼津市戸田中核農業者協議会」を中心として普及に向けた取り組みをしており、地域資源を生かした特産品として食料品から他のあらゆる分野までその活用の可能性を広げ、橘のブランド化を進めています。今後は「不老長寿の橘」「不老長寿の里」をキャッチフレーズに全国に橘の名を発信し、活用拡大を目指しています。

戸田名所・史跡案内 井田松江古墳のロマン

「駿河湾越しに霊峰富士を眺めて眠りたい！」古墳時代の人達の夢の史跡です。

海拔七〇mの高台に、西伊豆最大の古墳群である二十三基の横穴式石室の円墳が、一四〇〇年前のほぼ完全な形で残っています。

インターネットで「松江古墳」を覗くと、新羅（朝鮮）の金環や丸玉、須恵器、武器馬具など多数の宝物が出土しているとあります。

古墳を管理する沼津市文化財センターの話では「普通そ



松江古墳からの景色

の辺にある古墳とチョッと格が違う」とみており、余程豊かな人達が素晴らしい景観に感動し古墳を造ったものと、容易に想像できる、としています。

戸田と沼津の市営図書館にはこの古墳に関する興味深い資料が大切に保管されています。

戸田から車で十五分、古墳のある井田の村里は、ミカンと民宿の村です。晩秋、友人・家族と古墳散策・ミカン狩り駿河湾の磯料理などを楽しんでください。

詳細「井田むらおこし委員会」
〇五五八一九四―二六九二



松江古墳群

— 創業明治参年 味わいの宿 —

ときわや

高足ガニとエビカニづくしの磯料理

TEL 0558-94-3333

フリーダイヤルTEL 0120-04-1260

ホームページ <http://tokiwaya.info>

企業の繁栄と社会貢献

沼津法人会 戸田支部

支部長 中島寿之

事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224

食中毒予防の決め手はあなたの手

沼津食品衛生協会 戸田支部

支部長 真野雄二



西伊豆へだおんせん

海のほたる **いさば**

■夕日海岸物語■

〒410-3402

沼津市戸田美浜海岸3878-20

TEL 0558-94-3048(代)

URL <http://www.isaba.co.jp>

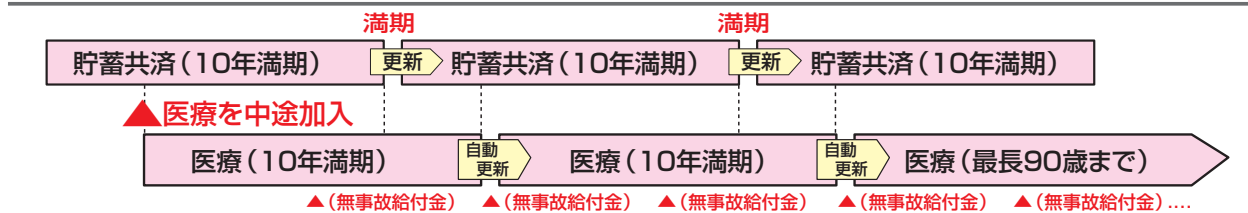
『貯蓄共済』『福祉共済』加入増強月間

11、12、1月は各種共済制度の加入増強月間です。各支部、部会で会員による加入推進組織を設け、事務局と連携して取り組みます。皆さまのご協力をお願いします。

リビング・ニーズ特約

生きているうちに保険金を受け取ることができます！
被共済者の余命が6ヶ月以内と判断された場合、被共済者が生きているうちに保険金を受け取ることができます。

貯蓄共済の医療保障特約が中途加入できます。



医療の既契約があることにより、貯共の満期更新がしやすくなります。

何故？→医療共済は貯蓄共済の加入者のみが継続できます

- ①入院給付金や無事故給付金を受け取っている方(もうすぐ受取れる方)は医療の保障を継続する傾向が高いです
- ②年齢が上がるにつれ、体況にも変化が起きやすいので医療を継続する傾向が高いです

医療保障が必要だから→貯蓄共済を更新(健康状態に関係なく更新可能)

「基盤強化推進月間」取組中です

十月から来年一月まで、商工会は「組織財政基盤強化推進月間」として、会員の経営安定と商工会の基盤強化づくりに取り組んでいます。

- ①会員・組織の増強、②経営支援の強化、③会員福利厚生(各種共済、労保)の充実、④商工会の自己財源比率の向上、の四つ強化策を推進します。

期間中、役員が事業所に伺う予定です。経営等でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

原支所青年部より おもちゃの提供 ありがとうございます！

先月、原支所青年部が、地元のお祭りで行う射的屋台の景品の公募をしたところ、左記の皆様から提供いただきました。ありがとうございます！

- ・セブンイレブン 原町中三丁目店 三河屋
- ・ビューティーサロン ひろこの店
- ・松野 ポン菓子ポン吉

機構研修を終えて

八月二十日～九月十四日までの二十日間、東京・東大和市の中小企業大学校で開催された「財務・税務入門」を受講しました。研修には関東地区を中心に全国の商工会・商工会議所から、経営指導員や候補者六十七名が集まり、受講生の多くが大学校に併設された寮で生活を送りました。

研修の内容は、前半は所得税や消費税の仕組みといった税務に関することがメインで、後半は企業の財務分析や経営管理の進め方について基礎的な学習をしました。カリキュラムは、講義だけでなく、グループ単位で課題を解決したり、議論を重ねる学習が多く取り入れられていました。こうしたグループ討議をきっかけに他の商工会や会議所方々との交流が生まれました。講義の内容以外にも商工会の運営やイベント等について、多くの情報交換行い、新しい刺激を貰うことができました。とても有意義な四週間となりました。

(戸田支所 加藤 直人)

11月の行事予定

- 11月15日 新規職員採用試験
- 原支所
- 10月28日 第4回ふるさと産業祭
- 11月10日・11日 原地区コミュニティ文化祭
- 戸田支所
- 11月 4日 戸田さんさんまつり

TOPIX 本商工会で商標登録取得

<へだトロはんぺんのロゴマーク>



<沼津(愛鷹)茶のロゴマーク>



富士山の麓で生産されるお茶をイメージし、主に海外向けに作りました



沼津法人会 原支部

めざします企業の繁栄と社会への貢献